

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第121回 「子どもが選択する時に」

こころの相談員 前田 里美

子どもが親の思い通りにならない事は頭ではわかっている、つい親の考えを押し付けてしまうことがあります。

それは、はっきり言葉で言って強制するものもあれば、親の思い通りになるように誘導していくものもあるでしょう。個人差はありますが、小さい頃は素直に親の言うことを聞く子ども、成長するにつれて自分（自我）というものを確立していくので、当然反発する事も増えてきます。嘘をついたり、隠し事をしたり、反抗するのも成長しているからこそその行動です。親からすれば「言うことを聞かない」「間違った道に進んでいく」と思ってしまいますよね。そこで子どもの意思を尊重するには親の忍耐も必要かもしれません。

子どもへの行き過ぎた関心は過保護になり、お互いの依存につながることもあるでしょう。この先いつまで子どもの行動に干渉していきますか。高校生？大学生？就職するまで？結婚するまで？子どもの幸せな未来を望み、心配するのは当然の事でしょう。

しかし、時々冷静になるのも大切です。子どもの人生は親のものではありません。親の夢を子に託そうと思っても、それを選択して自分のものにしていくのは子ども自身でなければなりません。そうでないと、上手くいかない時や失敗した時に親のせいにして自分で責任を取ろうとせず、最終的には（話が大きくなりますが）自分の人生に責任を持たなくなるかもしれません。

部活や習い事、進路などの様々な選択や決断の必要な場面が出てきます。子どもが納得のいく選択ができるようなアドバイスができるといいですね。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。

12月活動報告



12月7日（月） カンガルーあさひ

みんなで鈴を鳴らして踊ったり、
クリスマスの歌を歌いました♪

カンガルーあさひ：月曜日10時～12時に児童館で行っています。

※詳しい実施日は広報掲載の子育て支援事業カレンダーで確認してください。